



会報

No.31

2013年 8 月27日発行

発行／日本コンプライアンス・オフィサー協会 発行責任者／菊池一男
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町 3 番21号 電話 (03) 3267-4826 ホームページ <http://jcoa.khk.co.jp/>

コンプライアンスと「ソフト・ロー」

最近、「ソフト・ロー」という言葉が、コンプライアンスと関連付けて語られているのを見聞きするようになりました。ソフト・ロー (soft law) は、いわば法的強制力のない倫理的・道義的等の規範で、私たちが「法」と考える強制力ある法律や条例などを指すハード・ロー (hard law) とは、対照的な関係にあるといえます。

コンプライアンスが、「法令等遵守」と訳されるならば、ハード・ローの観点が重視されるのは当然ですが、最近の企業（組織）の不祥事を見るに、ソフト・ローの観点も無視できなくなってきました。

大手化粧品メーカーによる化粧品の自主回収問題が大きなニュースとなっています。新聞等の報道によれば、問題となっている成分が入った化粧品の副作用と思われる肌の被害の問合せが数年前から寄せられていたにもかかわらず、化粧品の成分と被害との因果関係が不明確であったため問題にはせず、今年に入って問合せや苦情が相次ぎ、被害が顕在化した後に調査に着手したとのことです。その後、会社は問合せの事実を公表し、購入者（使用者）に注意喚起し、使用中の商品も含む全品在庫を自主回収する事態となりました。

この出来事でクローズアップされているのが、公表が遅れたことで被害が膨大な数に膨れ上がったことです。確かに、早期に数件寄せられた問合

せの時点で、会社の違法性の有無は定かではなかったかもしれませんが。最終的には、経営判断として自主回収という措置をとったわけですが、被害との関連性を考えれば遅きに失した感があります。

あらためて企業の不祥事というものは、単に違法行為があったか否かに限らず、世の中の非難を受け、信用を失うような事件・事故を指すものだということがわかります。

では、コンプライアンスの徹底が企業の不祥事防止にどこまで寄与するのでしょうか。日頃の違法行為はさることながら、根底にはソフト・ローの考え方や行動が必要になってきます。すなわち、何か事が起きたときに倫理的・道義的な規範に基づいた対応によって、刑事上の問題だけでなく、民事上の問題をも回避できるかもしれません。

顧客保護や顧客サービスの視点でビジネスを行うことは社会からの要請でもあります。例えば、説明義務について、法からのアプローチでその義務を果たすことは言うまでもありませんが、ソフト・ローからのアプローチでお客様から信用かつ信頼されるよう努めることも大事ではないでしょうか。

(日本コンプライアンス・オフィサー協会
事務局長 菊池一男)

コンプライアンス・個人情報保護 オフィサー認定試験 成績結果

去る6月2日(日)に実施いたしました第29回コンプライアンス・オフィサー認定試験、および第14回個人情報保護オフィサー認定試験の試験結果がまとまりましたのでご報告いたします。

コンプライアンス・オフィサー認定試験

●金融コンプライアンス・オフィサー1級

成績結果は、〔表-1〕のとおりです。

応募者数882名中受験者は675名で、認定者は182名でした。認定率は26.96%、平均点は52.30点で、認定率は前回よりも下がりました。

問題では、〔問題-3〕代金取立手形、〔問題-9〕成年後見制度、が低調でした。

〔問題-3〕については、手形に関する問題をこしばらく出題しておらず、学習機会が少なかったことが影響しているのか、理解が十分でない答案が散見されました。また、〔問題-9〕に関しては、成年後見制度の利用者が増えてきている実務の現状を踏まえると、残念な結果であったといえます。

●金融コンプライアンス・オフィサー2級

成績結果は、〔表-2〕のとおりです。

応募者数5,834名中受験者は5,315名で、認定者は2,857名でした。認定率は53.75%、平均点は59.67点で、認定率は前回よりも大きく下がりました。

正答率が30%を下回った問題は、〔問-7〕法令等違反行為への対応、〔問-10〕個人情報保護法、〔問-15〕善管注意義務、〔問-19〕手形・小切手の取扱い、〔問-21〕利益相反取引、〔問-22〕商習慣・約款取引、〔問-24〕文書偽造、〔問-28〕抱合せ取引、〔問-30〕適合性の原則、〔問-40〕偽造・盗難カード等預貯金者保護法、の10問でし

た。

これらの問題の多くは、これまで繰り返し出題されてきている項目でもあり、コンプライアンス上、重要な問題でもあります。試験対策としてのうわべだけの暗記ではなく、本質を理解して実務に活かすことができる学習をし、試験にのぞんでいただければと思います。

個人情報保護オフィサー認定試験

●金融個人情報保護オフィサー2級

成績結果は、〔表-3〕のとおりです。

応募者数3,985名中受験者は3,659名で、認定者は1,476名でした。認定率は40.34%と前回(59.81%)よりも大きく下がりました。

マークシートの結果を前回と比べてみますと、30%以下の正答率の問題が6問と5問増えました。また、80%以上の正答率の問題が2問と5問減りました。また全体的に正答率も不調であったことから今回の結果になったものと思われます。

記述式の結果をみますと、〔問-36〕手形の紛失事案発生に伴う公表については、根拠条文を引用し、的確な理由付けをせず、曖昧な理由付けのまま、保管中の手形を紛失したことを「公表すべきである」あるいは「公表する必要はない」と結論付けているものもありました。

〔問-37〕の第三者提供の例外については、個人情報保護法23条1項のほか、金融庁ガイドラインの理解が欠かせませんが、なかには「不適切である」とした答案もありました。

〔問-38〕の保有個人データの利用目的通知と手数料については、個人情報保護法24条2項、30条1項・2項の理解が求められる出題でしたが、これらと関連づけられない答案もあり、やや低調でした。

〔表－１〕 金融コンプライアンス・オフィサー１級 業態別成績一覧表

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数(名)	7	245	159	71	215	37	37	17	4	0	0	90	882
応募比率(%)	0.79	27.78	18.03	8.05	24.38	4.20	4.20	1.93	0.45	0.00	0.00	10.20	100.00
受験者数(名)	7	200	110	54	171	32	33	11	2	0	0	55	675
受験率(%)	100.00	81.63	69.18	76.06	79.53	86.49	89.19	64.71	50.00	0.00	0.00	61.11	76.53
認定者数(名)	2	50	60	19	21	5	6	3	1	0	0	15	182
認定率(%)	28.57	25.00	54.55	35.19	12.28	15.63	18.18	27.27	50.00	0.00	0.00	27.27	26.96
平均点(点)	52.86	53.03	58.65	54.63	47.49	47.31	47.85	51.36	69.00	0.00	0.00	54.65	52.30
年齢(歳)	45.9	38.0	41.0	44.3	42.2	42.7	39.8	36.5	49.5	0.0	0.0	41.1	40.7
勤続年数(年)	24.0	15.4	18.3	21.5	19.9	19.1	16.1	13.4	25.0	0.0	0.0	15.6	17.8

※ 認定基準は60点(以上)です。表中の平均点・年齢・勤続年数は受験者の数値です。

〔表－２〕 金融コンプライアンス・オフィサー２級 業態別成績一覧表

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数(名)	193	895	403	390	1,267	495	1,206	111	63	1	2	808	5,834
応募比率(%)	3.31	15.34	6.91	6.68	21.72	8.48	20.67	1.90	1.08	0.02	0.03	13.85	100.00
受験者数(名)	181	815	372	361	1,155	459	1,126	101	50	1	2	692	5,315
受験率(%)	93.78	91.06	92.31	92.56	91.16	92.73	93.37	90.99	79.37	100.00	100.00	85.64	91.10
認定者数(名)	153	514	313	203	600	134	399	60	41	1	2	437	2,857
認定率(%)	84.53	63.07	84.14	56.23	51.95	29.19	35.44	59.41	82.00	100.00	100.00	63.15	53.75
平均点(点)	68.52	62.31	68.47	60.76	59.26	53.14	53.93	61.27	67.04	64.00	65.00	62.52	59.67
年齢(歳)	32.0	30.6	34.6	32.1	32.3	31.2	37.2	32.1	39.0	35.0	38.5	34.8	33.5
勤続年数(年)	8.9	7.9	11.3	7.5	10.0	8.8	14.7	9.0	15.7	9.0	16.0	10.3	10.4

※ 認定基準は60点(以上)です。表中の平均点・年齢・勤続年数は受験者の数値です。

〔表－３〕 金融個人情報保護オフィサー２級 業態別成績一覧表

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数(名)	31	666	53	183	638	216	1,781	53	80	4	3	277	3,985
応募比率(%)	0.78	16.71	1.33	4.59	16.01	5.42	44.69	1.33	2.01	0.10	0.08	6.95	100.00
受験者数(名)	28	586	45	169	588	192	1,707	46	59	3	2	234	3,659
受験率(%)	90.32	87.99	84.91	92.35	92.16	88.89	95.85	86.79	73.75	75.00	66.67	84.48	91.82
認定者数(名)	10	275	31	61	262	64	601	23	24	1	1	123	1,476
認定率(%)	35.71	46.93	68.89	36.09	44.56	33.33	35.21	50.00	40.68	33.33	50.00	52.56	40.34
平均点(点)	59.11	58.53	64.62	56.40	57.92	55.23	55.25	59.33	56.46	55.33	66.00	60.26	56.80
年齢(歳)	34.9	34.0	41.1	30.9	32.5	32.9	36.9	32.2	37.7	29.0	41.0	35.0	35.1
勤続年数(年)	11.9	10.4	16.9	8.4	10.0	11.1	14.6	8.6	15.3	7.0	17.0	10.9	12.3

※ 認定基準は60点(以上)です。表中の平均点・年齢・勤続年数は受験者の数値です。

第29回 金融コンプライアンス・オフィサー 2 級試験 都道府県別認定率上位10位

第29回金融コンプライアンス・オフィサー認定試験、第14回個人情報保護オフィサー認定試験の成績結果につきましては2、3頁でご紹介しましたが、金融コンプライアンス・オフィサー 2 級では、都道府県別の認定率を集計・作成しました。下記のとおり、認定率が70%超の都道府県もあります。

* 申込20名以上の団体を対象としています。また、「都道府県別」については、各団体の本店所在地を都道府県に置き換えて集計・作成しています。

★金融コンプライアンス・オフィサー 2 級…全国平均53.75%

		認定率	受験者数	認定者数
1位	京都府	78.95%	38名	30名
2位	北海道	76.36%	55名	42名
3位	大阪府	71.50%	207名	148名
4位	東京都	69.61%	1,323名	921名
5位	栃木県	69.23%	26名	18名
6位	福岡県	65.63%	32名	21名
7位	神奈川県	63.64%	55名	35名
8位	三重県	62.71%	59名	37名
9位	新潟県	62.50%	56名	35名
10位	和歌山県	59.26%	27名	16名

〔2013年10月実施〕コンプライアンス・オフィサー認定試験のご案内

実施日	願書受付期間	実施種目	出題形式	実施時間	受験料
第30回 2013年 10月27日(日)	2013年 8月19日(月) ~9月9日(月) 必着	金融コンプライアンス・ オフィサー 1 級	事例付記述式	13:30~16:30 (180分)	6,300円 (税込)
		金融コンプライアンス・ オフィサー 2 級	四答択一式	10:00~12:30 (150分)	4,200円 (税込)
		保険コンプライアンス・ オフィサー 2 級			